

「つどい」(第22回大会)参加の注意事項

1 競技規則と競技方法

- 1) 本大会は、平成17年度日本水泳連盟競泳競技規則及び日本身体障害者水泳連盟競泳競技規則、本大会要綱に基づいて行う。
- 2) 競技方法は、リレーは予選を実施し、個人種目はタイムレース決勝とし複数のクラスが同時に行われた記録の処理はクラス毎とする。
- 3) 本大会では、日本水泳連盟の競技者資格規定を準用しているため、スポーツマンシップに注意すること。

*広告規制、浮き具など使用、テーピング・サポーター、ミサンガ、イヤリング、刺青など招集所でチェックするので、その旨心得ること。

2 スタートについて

- 1) スタートは1回のみとし、やり直しは行わない。他の選手がフォールスタートした場合も出発合図員の号砲によってスタートすること。
- 2) L1・L2・L3・UL1・C1・C2・C3・C4のクラスの選手は水中スタートしなければならない。

スタートの方法

審判長の短い笛の合図で準備し、長い笛の合図でスタート台に上がり、「用意」の合図を待つ。背泳ぎ以外で水中スタートするときは短い笛の合図で、直ちに自コースもしくは近い方のプールサイドから入水し、自コース内に移動する。飛び込みスタートのときは「用意」の合図の前にスタート台の前縁に足の指をかけて、号砲を待っても構わない。ただし、同じ組で水中スタートと飛び込みスタートの選手がいる場合は短い笛と長い笛の間が空くので、飛び込みスタートの選手はリラックスして待つこと。

3 競技順

競技は、女子・男子の順に大会プログラムの順序で行う。シニア、一般についてはシニア種目を先に行う。

4 招集

招集は、指定された招集場所において、競技開始時間の30分前より開始し、10分前に終了する。招集時間に遅れた者は棄権とみなすので、各自プログラムで自分の招集開始時間を確認すること。また、競技の進行に注意すること。(競技進行が20分以上早くなった場合、場内放送を入れる。)なお、エントリー後に競技を棄権することになった場合は、競技開始1時間前までに招集係へ申し出ること。

5、競技エリア内入場許可、介助申請

本大会では、競技エリア内にコーチや介助者が入る場合、許可が必要である。該当レース30分前までに、理由を記載した許可申請を招集所へ提出すること。内容によっては認められないことがある。

また、入退水、タッピングなどの介助を大会本部に依頼する場合も、該当レース 30 分前までに招集所へ申請書を提出することが必要である。

6 競技時間

競技時間は、進行により変更する場合がありますので、各自進行状況に注意すること。(進行が30分以上早くなった場合は、審判長の判断で時間を調整する)

7 棄権・訂正について

棄権・プログラムの訂正の受付は、招集で行う。参加種目の変更や追加は一切認めない。印刷ミスの場合は、競技開始1時間前までに招集係へ申し出ること。

8 抗議について(クラス分けの抗議は別の定めに従うこと)

競技開始前に判明した事項は出発合図の前に文書で審判長に、競技終了後の抗議は、レース終了後30分以内に文書によって大会本部総務へ抗議料10,000円を添えて提出しなければならない。抗議用紙は招集所に備え付けている。

9 表彰・記録証

表彰は、競技終了後直ちに表彰場で行う。各種目に3位までに入賞した選手は、表彰者控え場所に待機すること。参加者全員に表彰場で記録証を交付する。

10 速報の掲示

速報は、2階フロアーに掲示する。(車椅子の選手は1階総合受付で問い合わせ可能)

11 リレーオーダーについて

各チームの責任者は、リレーオーダー用紙をその種目の開始1時間前までに招集所に提出すること。(ポイント記載間違いのないようにすること)

12 ウォーミングアップについて

50mプール

9月17日(土) 10:10~11:30

9月18日(日) 8:40~9:50

また飛び込みの練習は、7、8コースを予定している。当日の案内に従うこと。

25mプール

随時、ただし水中映像撮影などのイベントを実施しているため、担当者の指示に従うこと
飛び込みプール(水深5m)

50mプールが利用できない時間帯

13 監督者会議について

監督者会議は、9月17日(土)11:00~11:20に1階北会議室にて行う。

1.4 クラス分けについて

FCS クラス分け (S, SB クラス) が9月16日 (金) に実施される。クラス分け受検を指示された選手は、クラス分け委員の指示に従い、クラス分け会場 (神戸市市民福祉交流センター、会場図参照) でベンチテスト、プールでウォーターテストを受けること。
日本クラスは、17日、18日の競技観察によって行われ、場合によっては当日、再クラス分けテストが行われる。

1.5 ドーピングについて

本大会ではドーピング検査は実施しないが、障害上の薬物使用であっても、主治医と良く相談し、誤解の招くことのないよう努めること

1.6 関連イベントへの開催

大会当日、25mプールで希望者への、水中映像撮影、ワンポイント講義などが大阪教育大学大学院ボランティアチームの協力で行われる。

2階フロアーで大阪体育大学体育学部生涯スポーツ学科スポーツ医学研究室による体力測定を実施している。

1.7 その他

- 1) プール用車椅子を使用した選手はもとのところに返却のこと。
- 2) 選手の休憩・待機場所は、2階観覧席とする。車椅子の選手は3階観覧席のほか1階プールサイド競技エリア外とする。
- 3) 弁当申込者 (事前のみ) は、午前11時00分以降に1階の弁当引換所 (会場図) に取りに来ること。空き箱は回収するので、午後1時30分までに弁当引換所まで持って来ること。
- 4) 観覧・応援は2階、3階の観覧席を利用すること。大会側より許可を受けた者以外のプール競技エリア内への入場はできない。
- 5) 更衣は、プールの更衣室を利用すること。ロッカー使用時は必ず100円硬貨により施錠すること。(使用后、硬貨は返却されない) 紛失などの責任は一切負わない。
- 6) 大会期間中における事故または傷病については、応急処置のみとする。その他の責任は負わないので、体調などは各自自己管理すること。

7) 大会会場での写真撮影について

大会での写真撮影は許可が必要である。許可書の無い者は撮影できない。
撮影の許可は1階受付で1000円の保証金を渡して申請すること。
許可書の返還で保証金は返還される。

8) 個人情報の取り扱い

本大会のプログラム記載事項、記録などは連盟ホームページで公開されることがある。
その他、連盟の個人情報取り扱い方針 (連盟ホームページにて案内) に基づいて行われる。